

『看護研究第2回目』 研修会実施報告

日時 : 令和元年6月1日(土)

対象者 : 卒後4年スタッフ11名 部署研究1名

参加者数 : 15名(アドバイザー3名)

目的 : 看護研究の取り組み方法と実際を知り、看護の創造性を養う事ができる

<講師の紹介>

畿央大学 健康科学部 理学療法学科

教授 福森 貢 先生

1983年 近畿大学工学部卒業

日本制御機器株式会社でハード・ソフトウェアの設計・開発

1999年 京都市立福知山市民病院附属

看護専門学校 非常勤講師

国立病院機構舞鶴医療センター附属

京都看護助産師専門学校 非常勤講師

2005年 畿央大学 専門:プログラミング・統計学・情報学

当院では2010年より看護研究講師としてご指導頂いています。



<内容>



統計の基礎知識や仮説検定による統計処理の方法をわかりやすく講義していただきました。講義では福森先生オリジナルの統計処理ソフトを使用させて頂き、仮説検定の意味や活用方法を学びました。さらに例題を用いて検定方法を体験し、学びを深めることができました。

研究グループごとに、事前に考えていた統計処理方法で行ってよいのかを先生に確認でき、これから自信をもって研究を進めることができると思います。今回の研修で学んだことを活かして頑張ってください。